



ような事務に伴いまして超過勤務手当を出さなければならない、そういう額でございます。

○堀末治君 そうすると三月三十日までの分と四月一日からの分と、こうきちつと分けるわけでございますね。

○政府委員(金丸三郎君) そうでござります。

○堀末治君 そうすると二十七年度分必要な経費というのは総額で何ぼになりますか。

○政府委員(金丸三郎君) 約八百九十万円でございます。

○堀末治君 必要な経費は八百九十万円でございます。

○政府委員(金丸三郎君) この改訂によるさつきのやつですね、この総額がまとめて五千何ぼ、六千何ぼと、こういうのですか。

○政府委員(金丸三郎君) さようでございます。

○堀末治君 この改訂によるさつきのやつですね、この総額がまとめて五千何ぼ、六千何ぼと、こういうのですか。

○政府委員(金丸三郎君) さようでございます。

○堀末治君 これはそうすると市町村の吏員にかけた金額でございます。

○政府委員(金丸三郎君) それは投票所、開票所の事務は殆んど大部分が市町村の吏員でございます。それから選舉会の事務に要します者は殆んど都道府県の職員でございます。それから選挙公報の発行の関係も殆んど都道府県の職員の超過勤務手当になつて参ります。それから演説会の施設の公営や立会演説会の関係は、殆んどすべて市町村に参ります。一般的ほかの事務費は都道府県と市町村とございまして、市町村の分と都道府県の分を併

せまして衆議院が約六千百二十三万円、参議院が五千七百六十万円というような金額になつて参ります。

○堀末治君 なおお伺いいたしますが、二十八億八千九百何ぼという全体の額を計上しておりますがね、この前のあれはいつの選挙でしたか、二十四年の一月、あの選挙のときにもう各地方公共団体が選挙費用が足らないで困るといつて、この委員会へさんぐ陳情したけれども、なかなか大臣は出さないから、随分長い間折衝して、要求通りとうとく出さないようなことがございましたが、これだけの金額であるということは、もう一遍又あとで足らないから出してくれとか何とか言つてこの委員会に陳情に来るようなことはございませんか。

○政府委員(金丸三郎君) ないと信じております。

○堀末治君 この前随分この委員会でも困ったんですよ。私どもは大部分を地方公共団体の陳情は尤もだと思つたけれども、なか／＼大蔵大臣頑強にそれともならないで、随分長くかかるつて、市町村では地方公共団体は非常に困つたのですがね、間違いございませんか。

○政府委員(金丸三郎君) 只今の点は御心配誠に御尤もでございますが、昭和二十三年の選挙のときには、たしかまだかような基準法ができておりませんので、従つて当時の全国選舉管理委員会と大蔵省との間の折衝の結果定まりました単価によつて予算を計上したわけでございます。今はすでに過去の二、三回に亘つて行われております。

○堀末治君 幸いに、私は一々調べている時間もございませんが、お説の通りなら結構ですけれども、私なんかこなれば或いは北海道あたりは特に増加額を要求するようなことがあるかも知れませんが、そのときは如何ですか、お考えは。

○政府委員(金丸三郎君) どうしても

きましては、それぐぐでに地方の選舉管理委員会も十分納得しておるのでございます。それにつきまして先般来ております。従つて問題はないというふうに考えておる次第でございます。

○堀末治君 これは内容の額は私よくわかりませんけれども、暖いところと北海道のような寒いところとは大分違います。こういう選挙なんかでやはり同一の額で北海道などをやらされると誠に困るんですが、北海道あたりはそれだけの手心をしてこの内容はできていますか。

○政府委員(金丸三郎君) その点は相当に考慮してございます。例えば支庁の事務費にいたしましても、内地の地方事務所よりも管轄の区域が広うござりますし、職員も多うございますので、それから旅費等にいたしましても季には特別に燃料費が東北、北海道等においては基準法の中に織込まれてございまして、最近は御心配頂きますほどの窮屈さはないと思つております。

○堀末治君 幸いに、私は一々調べている時間もございませんが、お説の通りなら結構ですけれども、私なんかこなれば或いは北海道あたりは特に増加額を要求するようなことがあるかも知れませんが、そのときは如何ですか、お考えは。

○政府委員(金丸三郎君) どうしても

万止むを得ないような経費がございまして、それが、調整費といつもののがございまして、その中から十分に理由が認められることは不足額を補うことができます。

○堀末治君 調整額というものがあります、別にその額を取つてあるんですか。

○政府委員(金丸三郎君) これは衆議院のほうにおきましては一千万円、参議院のほうにおきましては二千万円だけ、総額の二十八億何ぼの中に織込まれます。

○堀末治君 調整額というものが……

○政府委員(金丸三郎君) その中に一千万円と二千万円が入つております。

○堀末治君 そうするとその額だけは、三千万円だけはやらないのですか、これは。

○政府委員(金丸三郎君) これは最初から出しませんで、万止むを得ない、そのような理由のあるところに支出するように、一種の予備費として取つてあるわけでございます。

○堀末治君 そうするとこれは少し違つた質問がありましたら、選挙関係の……。

○館哲二君 選挙の問題なんんであります、それに関係いたしました。

○政府委員(金丸三郎君) 朝日新聞の記事であつたと思いますが、参議院の通常選挙の政治団体の活動についてもよつと了解しかねる記事が出ておつたのであります。

○堀末治君 その中からそれだけ引出したことになつた……僅かなことですけれども。

○政府委員(金丸三郎君) そうです。

○堀末治君 これだけもつたつもりで……、それであとから足りない場合に埋めるという結果になるのですね。

○政府委員(金丸三郎君) 当初は交付いたしませんけれども、必要が起きた

ところにはあとで精算して交付することになるわけでございます。

○堀末治君 究極においては、合計二十六億二百十九万一千円は地方公共団体にくれる。僅かなことであるけれども、少しおかしい。

○政府委員(金丸三郎君) 総額の暫定予算として計上されております二十八億八千九百五十万八千円と、基準経費の額として地方団体に交付いたします額の二十六億二百十九万一千円の差額は、全国選出議員の選挙関係の事務費、その他中央で行います選挙公営の費用とし自治庁から支出いたします経費でございます。地方団体に交付した額は、地方公共団体に二十六億二百十九万一千円とあります。このほかにその金額を用意してあるのですね。

○政府委員(金丸三郎君) その中に一千万円と二千万円が入つております。この額は、地方公共団体に二十六億二百十九万一千円とあります。このほか十九万一千円とあります。このほかにその金額を用意してあるのですね。

○政府委員(金丸三郎君) それだけはやらないのですか、これは。

○政府委員(金丸三郎君) これは最初から出しませんで、万止むを得ない、そのような理由のあるところに支出するように、一種の予備費として取つてあるわけでございます。

○館哲二君 これに関連した質問がありましたら、選挙関係の……。

○委員長(第田七平君) これに関連した質問がありましたら、選挙関係の……。

○堀末治君 そうするとこれは少し違つた質問がありましたら、選挙関係の……。

○館哲二君 選挙の問題なんんであります、それに関係いたしました。

○政府委員(金丸三郎君) 朝日新聞の記事であつたと思いますが、参議院の通常選挙の政治団体の活動についてもよつと了解しかねる記事が出ておつたのであります。

○堀末治君 その中からそれだけ引出したことになつた……僅かなことですけれども。

○政府委員(金丸三郎君) そうです。

○堀末治君 これだけもつたつもりで……、それであとから足りない場合に埋めるという結果になるのですね。

○政府委員(金丸三郎君) 当初は交付いたしませんけれども、必要が起きた

ところにはあとで精算して交付することになるわけでございます。

の前に改正の法律案が衆議院を通過して、本委員会で審議されおりますうちに解散になつたために、一応成立はしなかつたのであります。ああいうことによつて規制をして行こうという考え方があつたのでござりますけれども、成立しなかつた。そうすれば当然これは参議院議員の選挙については二百一条の五の制約は受けないと考えるであります。この点についての当局の明確なる御説明を一つ願いたいと思います。

○国務大臣(本多市郎君) この選挙の期間中の政治団体に対する法律上の制約でございますが、衆議院議員選挙をやる場合には制約を受けまして、許される限度というものが法律できまつておるのでござります。従つて衆議院議員選挙に全部に關係のある政治団体においてはそれによつてやらなければならんということになります。衆議院議員選挙と参議院議員選挙と同時に行われる場合に、衆議院議員の候補者を出さない政治団体と申しますか、そちらの団体につきましては、やはり選挙の本旨からいいまして、同一条件で選挙が行われるということが望ましいと考えておりますから、衆議院議員選挙に關係のある政治団体と足並の揃う同じ方法でやつて頂きたい、かように考えております。

なお政府委員から補足して御説明申上げます。

○政府委員(鈴木俊一君) 只今大臣が御説明申上げました通りの考え方を選挙の公平な執行という点から希望している次第でござりますが、ただ法律の問題いたしましては、この参議院議員の選挙の特例というような、衆

議院議員の場合におけると同じような規定がございませんために、解散上並びに法の運営執行上非常に政府といたしまして困難をいたすのでござりますが、法律上の問題としては、従つて衆議院の総選挙と参議院の通常選挙が同時に行われまするような場合におきましては、果していずれの解釈が正しいか、即ち衆議院議員選挙の特例における規定が参議院の通常選挙の政治団体の活動にかぶつて行くか、それとも参議院の通常選挙については全然規定がないのだからさうな制約をするような制約が参議院の通常選挙の政治団体の活動に及ぼすものである、こういふ解釈をとるか、この両論、実は研究的申しましてもあるわけでございまして、この点につきましてはなお若干の解釈上の疑点を存するのでござりますけれども、私どもいたしましては、只今大臣が申上げましたように、衆議院議員選挙の特例におきまするような意味での制約と申しますが、限界をなしそれ自ら的に行なつて頂くことが望ましいのではないかというふうに考えるのです。ただ法律上の問題として然らばさうな自重を行なつかつた場合にどうなるかということに相成りますといふと、これは又いわゆる罰則を以て強制されるかどうかということにつきましては、若干疑惑を存すると思うのでございまして、ただ考え方の問題として、できるだけかよくな趣旨が各政党について行われることが適当であるのだということに考へて、奉

議院議員の選挙における政治活動といふものは、政治団体の活動といふものでは、大体これは受けないので、どう考えでありますと私判断したのであります。が、ただその際に野放しになるのは其だ困るから、或る程度のところで自らしてもらいたいというようなお話をとうにお聞きしたのであります。そろう承知してよろしくございますか。

○國務大臣(本多市郎君)　或る程度のところと言われたところに実はもう少し希望を申上げたいと思うのでござります。選挙はやはり同一条件で運営が行われるということ、これは選挙の本旨から考えても絶対要件だらうと考えられます。併し法律の規定の如毎議院選挙に臨んで、衆議院の候補者を持つてゐる政党は非常な制約を受ける、そういう条件の下に行われますということは、どうしても選挙の本旨に副わないよう思ひますので、たゞ参議院の候補者だけしか出さない政党は何をやつてもよろしい、同じく議院選挙に臨んで、衆議院の候補者を持つてゐる政党は非常な制約を受ける、そういう条件の下に行われる同じ条件で行われるように是非とも願いいたしたいと思います。

○中田吉雄君　御観旨はよくわかりますが、昨年選挙法の改正がされましたが、差迫つたのは衆議院だけだ、参議院の選挙は来年の五月頃に行われるのだから、そのときにやればよろしい。ところが立法措置ができていまい。それをこのたびのようにやらる参議院について、それは到底どの法律によつたつてそういうことはできぬ。わくなんです。ですから我々としては、大體これは受けないので、どう考えでありますと私判断したのであります。が、ただその際に野放しになるのは其だ困るから、或る程度のところで自らしてもらいたいというようなお話をとうにお聞きしたのであります。そろう承知してよろしくございますか。

これは憲法にも九十九条には「天皇は摂政及び國務大臣、國會議員、裁官その他の公務員は、」そういうふなことで憲法を守らなければいけないという規定がある。それがないのでこれからしようがない。ですから我々としては参議院だけは如何ともできない併し衆議院においてそういうことにしてもかこつけてやるようなものはそらを取締つたら、それが一番現行法忠実な方法だと思うのです。参議院についてはこれはどうしようもない。それを、衆議院で禁じてあるのをも取締つたるのを参議院にかこつけてやる、こういふものを取締らるるように、縦に割つて参議院にかこつけてやる、こういふ行為されさえすれば、縦割にして、参議院のはうはよろしい、衆議院はこの規定があるんだから、この規で参議院にかこつけてやる、こういふものを取締らるるよう、縦に割つてやられればやはり現行法の趣旨によつては、まあ衆議院にないからと言れますが、私の極めて親しい人も今緑風会から出ますが、衆議院選挙でところにあるのです。参議院にいと話し合いがついて、そういう人が至るから、その間はもう自由党の候補は緑風会で立つて立候補をされる。以し衆議院の選挙には三日、四日前であるから、その間はもう自由党の候補共同歩調を取つてやるというふうになつて、なか／＼新聞に窮余の写決策を示しておられるようなことはこれはどうにもできないと思うんです。

院候補者に対する政党の運動が非常に大きい。反対するものだと思います。そこでその自粛を求めることが、むしろ権利の濫用です。だといふに言われますけれども、私は選挙の本旨から考えて本旨に反するものだと思います。しかし、これは逆じゃないかと私は考えておりません。たゞ、衆議院候補者を持たない政党は無制限に選挙期間中運動ができる。持つてゐるがために同じ参議院の選挙において、例えば自由党にいたしましても非常な制約を受けることになるのでありますから、これはどうしてもその衆議院議員候補者を持たない政党が歩調を揃えて自粛して頂くことが望ましい。その場合自粲して頂けなかつた場合に、法的にそれが違反であるかどうかということにつきましては、これは別であります。まだ断定はいたしませんけれども、多少は法律上の解釈に一部疑惑を持つ人もあるくらいでござりますので、是非一つ自粲してやつて頂きたい。そうして同じ条件下で公正な選挙が行われるということになりますから……決して法的に根拠があるからということを強調して申上げるわけではありません。まだ解釈は一定されておりませんから、或いは衆議院議員候補者を持たない政党は、自由党やそれだけの制約を受ける、それならば同じところへ足並を揃えてやつせん。併し選挙の本旨から考えて、たゞ社会党、自由党、その他の衆議院議員の候補者を持つてゐるところの政党がそれだけの制約を受ける、それで、競争で出ようとするときに条件が公平でないということは、選挙の本

旨にも反することになると思いますので、そういうふうにお願いいたします。

○中田吉雄君 大体この規定自体がやはり二十五人ということに限つたことと自体がすでにいろいろ問題があるくらいで、それをなおこれは当然廃止すべきなのがいる／＼な点から……正しいわけですから、とにかく今のようなことはまあ話が我々納得できません。特に最近法制局ですかの解釈を見ましても、甚だ苦心の作ではありますかが、如何にして政府の曲解する立場を、それを隠蔽し、理論付けようとしておるかの苦衷はあり／＼と随所に現われております。これを最近のドイツの憲法裁判所なんかが社会民主党の違憲訴訟を取上げて堂々とやつておる点、そういうことに比べると、日本の最高裁判所の態度、最近の法制局は、或る人は便利屋だと実に巧妙に言つていますが、とにかく我々としてはこれは納得できません。本日片がつかねば明日もやりませんが、政府は新聞にすでに決定されたような立場をはつきりされ、そして地方の方のほうにもそういう趣旨を流されたやに聞いておるのでですが、そういうことはどうなつていますか。

た方針で、望ましい方針として進もう  
ということを申合したことが新聞に出  
たのだろうと思います。これは自治庁  
限りの問題でございます。

私は中田さんが最前から法律にはつ  
きり書いてあることもこれは間違つて  
おるのだからと、こう言われますけれど  
も、法律にはつきり書いてあること  
は、これはもう仕方のないことであり  
まして、それはその通りにどうしても  
守つて頂かなければならん。この場  
合、主として緑風会に大きな関係のあ  
る問題であると思いますけれども、緑  
風会が衆議院議員候補者を持つていな  
いということだけで、それじや全く制  
約を受けない政治活動がその期間でき  
るかということは、どうもどうしても  
この選挙というものを道義的に解釈い  
たして見ましたときに、できるにして  
も、そこまでは同一条件で戦う、これ  
が選挙の本旨に適うことですから、是  
非そういうふうにしてもらいたいとい  
うふうに考えておるのでございます。

○中田吉雄君 御趣旨はよくわかるの  
です。併しろ／＼選挙が始まります  
と、感情も高ぶりますし、いろ／＼取  
締の混乱も起きますので、いろ／＼御  
研究になつて、政府の最終的な、統一  
的な一つ見解を明日是非示して頂い  
て、一つはつきりと、もう誤解を一掃  
して選挙に臨めるようにして頂きたい  
と思います。

○館哲二君 問題が大分むずかしいで  
すが、先に衆議院で通つた今度の十五  
国会での改正案ができております。そ  
れは参議院議員選挙の政治団体の政治  
活動についての標準をこしらえた。こ  
れはまあ衆議院が満場一致でやつたん  
ですから通つて來た。で我々のほうで

審議をしておつて、委員会において審議の過程は、各派におかれましてはれほど御異議がなかつたかのように思つております。或いはこの際、緊急集会といつ際に、こういう疑点のあるものであるから、これをはつきりさしために、あれだけを法の改正をやられるというようなお考えはありませんでしょうか。

○政府委員(金丸三郎君) やはり緊急集会は本当に、「國に緊急の必要があるときは、」ということになつておりますので、お説の通り疑義をはつきりする必要はあると存じますけれども、やはり憲法の緊急集会召集の必要性から考えましてもそのようなことはどうであらうかといふふに考える次第であります。

○村尾重雄君 中田君から最後に御希望のあつた点ですね、これは一つ明確にしてもらいたいと思うのです。といふのは非常に混乱をすると思います。その混乱を避けるためにも政府の解釈というものをこの際明確にはつきりして頂きたい、こう思うのでございます。

そこでこれは先ずこの自治庁の現在の解釈を是認した上に立つて一つお尋ねしたいのですが、例えば衆議院議員選挙が終つて、残りあと二日か三日の問題ですね、これは参議院議員選挙にとっては非常に重大なのです。最後の二日なり三日といふものの選挙のやり方といふものは……。そこで衆議院選挙特例法の解釈を離れた、自由に各政治団体とくいうものが行動を行なつてもかまわないと、これは非常に重要ですが、かまわないと解釈していいです

○國務大臣(本多市郎君) 衆議院議員の選舉に關係を持たない場合、參議院議員選舉のみを執行するについてその政治團體が制約を受けるか受けないか、ということについてもまだ研究の実はございません。従つて最も論が出ておらないわけでありまして、一部には何か制約を受けるという意図があるそうですが、従つて頂いて、明日はこういうことでやつて頂いたいということを最後的に申上げるにいたしたいと思います。

○村尾重雄君 その政府の明日御回答願う中にこの問題も考えて頂きたい。というのは、例えば緑風会という現状のまあ特定の会派があるので、これに対する対象にしておりますが、參議院議員選舉を通じての政治團體としての選舉活動が認められ、許されるとならば緑風会以外の一つの政治團體の活動といふものも考慮に入れて、そういうことも含んで……勿論含まれていて思いますが、明確な、混乱しない切札を示して頂きたい。

○中田吉雄君 お尋ねいたしますが、法制局の方おられますか。若し政府が衆議院の規定を參議院にも準用されると、それは選舉法にないから、いつてやる場合ですね、或いはそういう政府の措置は違法であるという訴訟を起してやるようなことになつたらどうなりますか。

○政府委員(鈴木俊一君) 今の中田君の御質問は、ちょっとと御質問の趣旨がはつきりいたしませんでしたが、しがれが選法の措置である、やろういう場合に、違法であると言つた場には、若しそれをあえてやつたらどうなるかと……。

○中田吉雄君 政府は、これは法的にできないという訓示のようなことで、衆議院がそうなつておるんだから、そういう趣旨を汲んでやつてもらいたいというような意味なら、それを警察法なんかで取締るということは、そういうことは法の趣旨に反するんだといふ争いが起きた場合、そういうことです。

○政府委員(鈴木俊一君) それらの点につきましては、明日はつきりと一つ政府全体の意見を取りまとめて申上げることにいたします。

○中田吉雄君 その際に成るべくやはり選挙の自由というものを束縛しないような解釈をして頂きたいと思いま

す。

○館哲二君 これにつきましては自治庁側のまあ御解釈もあろうし、取締の局に当ります国警側の御解釈もありましようし、最後の段階として法務省側の御解釈もあろうと思ひます。これは全体統一されないと、私どもとしては非常に不安な状況にあるのでありますから、一つこれは是非とも政府当局として至急に十分な御研究を願いたいと思います。

○中田吉雄君 今日少し資料の提出もお願いしたいと思います。

国家公務員の政治活動についてのその違反の問題なんですが、一つお願ひしたいのは、極く最近まで局長であり事務次官であり、或いは政府の公共企業体等の権要の地位におられた人が立候補のために最近おやめになつたというようなことがまたたくさんあると思うんです。大体政府で一つ明日、誰と誰がそういうふうなことでやめて立候補しそうな恰好だという一つ御調査を……毎日、朝日等を私持つて來てい

10. The following table shows the number of hours worked by each employee in a company.

ますが、それと最近に余る国家公務員法の政治活動或いは人事院規則の政治的な行為に違反があるわけであります。例えば私の知つているのでも、或る前長官が立候補するというのでそこに関係各府県の課長なんかをたくさん呼んで、そして一つよろしく頼むと、まあ道路の割当はどうするとかいうようなことがたくさん行われてゐるんです。それから最近出張をたくさん、國家公務員の局長とかその他の部長とかいうような人が出張して、そして至るところで宴会を開いて、是非あれを頼みと/orというような運動があるんです。私が例を挙げるのは大変はばかりますが、例えば最近も経済調査官の私の知つてゐる或る地方の局長が、どこに行くかといつたら、いや、あの人人が今まで立つて応援を行つてやるんだというようなことをやつてゐるんです。どんどん政府のほうとしては教職員その他にも政治活動の制限をされようしながら、現行法については非常に寛大な解釈といいますか、やつておられるので、一つそういうことについて、国家公務員法に違反しない、或いは人事院規則の政治的な行為という項目に違反しないように一つ嚴重な指令を出されたりするような用意はないかどうかということをお伺いしたい。

○國務大臣(本多市郎君) これは特別職の国家公務員でありますと政治活動のまあ余地があるわけござりますが、一般職の国家公務員で、出張等の名目で実際政治活動或いは選舉運動等をやつてゐるということになりますと、これは全く公務員法にも違反するということになると思ひます。今田さんが調べて出せとおつしやいまし

た、どういう人間が立候補の目的でそれを立候補しているかということは、立候補ということはやはり個人個人の考えもありまして、最後のとまりまでなか／＼わからぬ性質のものでございますので、あらかじめ人を名指して、これが立候補しそうで政治運動しているというようなことをなかなかか責任を以て資料をお上げすることは困難だと思います。併し一般職の公務員がそうした傾向があるといったら、ならば、この点は十分注意して行きたいと思います。

○中田吉雄君 個人の名を挙げましてやかくいいますことは、まあ選舉妨害等にもなりますので、私もそれでは要求しない。併し内閣とされて、綱紀を肅正して法を守るという立場から、やはりそういうことが幾らで

がいいのだから、こういうようなことですかとなく、巧妙にやられて、最近も内務官僚の選選者が非常に多いと云ふことは、必ずしもそれに関係ないことです。最近各県の選舉関係の人を集められることもあると思ひますので、地方課題が非常に大きな問題だと思う。一つ最近各県の選舉関係の人を集められることもあると思ひますので、地方課題

なんかも通じて教唆されないように、そうして特にそういうことのないようになつ是非お願ひしておきます。

それからもう一点は、公明選舉運動についての団体があつてやつていて思ひます、が、その大体の構想について

○政府委員(鈴木俊一君) 公明選舉運動につきましては、御承知のごとく公明選舉連盟といつ財團法人がございまして、これが運動のまあ中心になつてやつておられるわけでございま

す。更に日本新聞協会でござりますと、かその他の言論報道機関がいざれもこれに協力してやる、こういう訴合いで相成つておられます。前回の衆議院選舉の際におきましても同様な公明選舉運動があつたのでござりますけれども、今回は全国の新聞協会に加盟しております言論報道機関等が皆いずれも一体となつてこれを推進する、こういふことをお伺いしたい。

○中田吉雄君 そうしますと、その公明選舉の運動をやつています団体についての自治庁の発言権はどういう関係になつていていますか。

○政府委員(鈴木俊一君) 先ほども申上げましたように、財團法人の公明選舉連盟がこの運動のすべての中心でございまして、自治庁といたしましては、

さような団体の役員その他の地位には全然何人も関係いたしておりません。ただい／＼団体等のほうから相談がございました場合に、自治庁としての見解を申述べるというふうな関係でございます。

○中田吉雄君 私も變應、買収、その他の腐敗選舉から公明選舉に變るため、超党派的な中立性を保つた運動については非常に賛意を表するのです。が、あのメンバーを見ますと、何かそ

ういう特定の会社とかいうような人か

がいいのだから、こういうようなこと

</

る人は厳然として或る党を支持したたり、中立性を保たない人が皆あの理事になつておるわけなんです。これでは実際公明選挙の運動に名をかりて、鈴木次長がさつき申されたような結果になつておる虞がある。一つ明日でも結構ですが、その公明選挙の団体に金を出しておられる人、そしてそれと政治資金規正法で、どの党にその人が献金しておるかという関係を一つ見たいと思いますが、それは一定の相関関係があつて、中立性がなか／＼守れないかと私思うわけなんです。特に最近私は是非自治庁に何とか御連絡願いたい点は、この衆議院選挙に或る特定の人を最も熱狂的に支持する選挙演説をやつた人が、今度公明選挙の団体の派遣として全県下を股にかけて選舉東正の演説をして廻つておられるのです。他県に行かれるものならこの点は了としましても、このあと衆議院選挙に非常な特徴候補を応援された人が先日から各県に出て、而も前にやつた関係府県を以て私は反撥しているのではないのかと思ひますので、是非その点を……それが青年団なんかが純真な直感的な感覚を以て私は反撲しているのではないのかと思ひますので、是非その点を……そいうふな選挙運動、こういう重大な議員を出すのですから、運動されるのも結構だと思ひますが、できるだけその関係のない府県に配置されるようなことを私は希望いたします。名を挙げてもいいですが、まあはばかりませんから言いませんが、特に今衆議院に出おられる牧野良三先生ですか、あれは会長だったと思ひますが、鳥取県に来てまして、今度一緒に自由党で出るのと同じ公明選挙の演説会に出られて、

私と同君とは多年の親友であるしといふようなことで、なか／＼巧妙なことになつて非常に多く問題がありますので、一つこの点ができるだけ超党派的な方法を出して頂きたいと思います。それから選舉に入ったわけですが、あの団体はやはり同じようにそういうふうな今講演をして廻られるような計画があるのでしようか、お知りでしたらお示し願いたい。

○政府委員(鈴木俊一君) 只今御心配の点につきましては、若しきような事実がござりますれば、できるだけそぞういうようなことがないことが、私どももいたしましても望ましいと思うのですがあります。その各理事その他公明選舉連盟の構成員になつておられる方の中には政党に所属しておられる方もおられますると思いますが、併し公明選舉連盟の役員或いは会員としての資格におきましては、飽くまでも中立性、超党派性を保つてこれはやつておられることと私ども信じておりますし、さよろんあつて欲しいということを念願しておりますでございます。

公明選舉連盟が計画いたします講演会、或いはその名を以て出しますところの各種のベンフレット、リーフレット等トというものは、飽くまでも特定宣傳派、特定個人の選舉運動にならないよう厳にこれは注意いたすべきでありますと考えております。さような希望は私どももかねてから申しておる点でございまして、かような趣旨はできるだけ連盟のはうにもよくお伝えしたいと、いうようと考えておる次第であります。

が、講師として派遣される方は、連問をしてお詫びになつて、それを各県のそういう団体が、どの先生に来て頂きたいというような要請に応じての何になつておるのですか、その点をお伺いいたします。

○政府委員(金丸三郎君) 必ずしも別に名簿がございまして、それを名指してどうといふこともなく、中央に向つて各方面の連絡がござりますから、適当にお選び願つて御派遣願いたいといふのが多いようですございます。実際問題といたしましては、皆さんお忙しいものでござりますから、地方から、どなたとどなたくらいの範囲といて希望が参りましても、なか／＼希望通りに講演にお出かけにならないほうがむしろ多いように聞いております。

○中田吉雄君 くどいようですが、講師のリストはできているのですか。

○政府委員(金丸三郎君) 別にリストはないと思いますが、あなたの御承知のように、役員の方は地方へ講演なんかにおいてになる方を希望して来る場合が多いように思います。そのほかいろいろな例えは時局問題とか外交問題とか、そういうふうなことで希望しておいでになる方を希望して来る場合が多いように思います。そのほかいろいろなことで、講師のリストといふようなことを、講師のリストといふようなそういう意味では別に作ったものはないよう思います。

○中田吉雄君 参考までに申上げます

団、婦人会その他有力者を集めまして、一つ公明選挙運動をやろうとしているところです。そこで、公明選挙は誰へということになつたわけです。そこでそこに出ておりました農民に私の党を支持する青年が出ておつて、今先生の言われるのは再びその軍備を促進される。党派の人だ、文責年に、我々に死ねという人だというふうなことで、御馳走も喰べずにもうその会は雲散霧消したというふうに、どこの村長さんが集めて、必ずそのとで一ぱい出しまして、公明選挙を開いてやることが多いのです。ですからようほど選挙にはそういうことのない。ようくに、更に講師の派遣でも、中立政策なんていふものはないのだというふうな講師を派遣して行くということが、暗に米ソ両勢力が対立するときにはどちらに付くべきかということをはつきり言う党を間接的に支持することになるので、なか／＼むずかしいのですから、一つ十分慎重に薄氷を踏むような方法でやつて頂きたいと思います。実際に私たちたくさんそういう例を見ておりますので、そこで最後に明日資料に出して頂きたいのは、公明選挙をされる団体の主要なメンバー、その財源、それから最近の、あの選挙も含めて政治資金規正法によるものでも、献金をした人の住所、それから会社名というような一覧表を一つ、前にも頂いたのですが、大分その後もあるようですからお願ひしたいと思います。

○政府委員(金丸三郎君) ちょっとわかりませんのでお伺いいたしますが、公明選挙連盟へ寄附をなさいました個

○政府委員(金丸三郎君) 政治資金規正法の関係とおっしゃいましたが……

○中田吉雄君 政治資金規正法によつて、昨年の選挙からいろいろ、届出上、正規の手続を踏んだ届出が出ている。それがありますからそれを一つ。

○政府委員(金丸三郎君) 各政黨の関係でござりますね。わかりました。

○中田吉雄君 もう一つ資料の要求なんですが、これは別に選挙には関係ありませんが、明日一つ開くついでに、五十億の財源を本多長官に、心配をして出していたのですが、公共団体別、府県別の配分がきまりましたらその一覧表を一つ。

○委員長(菊田七平君) 資料は明日全部出して頂くようにお願いしまして、本日はこの程度で散会いたしたいと思います。

午後三時四分散会

三月十八日本委員会に左の事件を付託された。

一、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律案

二、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律案

三、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律(昭和二十五年法律第百七十九号)の一部を次のように改正する。

国會議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律(昭和二十五年法律第百七十九号)の一部を次のように改正する。

第四条第一項の表を次のように改める。

第四条第二項の表を次のように改める。

第四条第三項中「千五百三十四円」を「千八百三十六円」に、「一千三百三十六円」を「一千六百円」に改める。

第五条第一項の表を次のように改める。

第五条第二項の表を次のように改める。

		区市町村		区		市		町		村	
開票区の選挙人數		開票日		開票日		開票日		開票日		開票日	
一千人未満上	一千人未満上	一千人未満上	一千人未満上	一万五千人未満上	一万五千人未満上	一万五千人未満上	一万五千人未満上	五三千人未満上	五千人未満上	五千人未満上	五千人未満上
六、四〇三	五、三六	三、四〇一	二、九〇四	一〇、七六七	八、一四八	六、四〇二	五、二二八	一、九一〇	二、五三〇	一、四八四	一、千人未満
五、五四	四、六六	三、四〇一	二、九〇四	一一、六四〇	一〇、一二〇	九、三六一	七、〇八四	一、九一〇	二、五三〇	一、四八四	二、千人未満
五、五六	四、四四	三、四〇一	二、九〇四	一一、六三八	五、七二四	六、五七一	四、〇二八	一、九一〇	二、五三〇	一、四八四	三万人以上
五、一〇	三、六	二、九〇四	二、九〇四	一〇、五六〇	四、七五二	七、六三一	三、一八〇	一、九一〇	二、五三〇	一、四八四	一万五千人未満上
二、八五	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	一、九四八	五千人未満上

第五条第三項の表を次のように改める。

		区市町村		区		市		町		村	
開票区の選挙人數		開票日									
三万人以上	三万人以上	三万人以上	三万人以上	五千人未満上	五千人未満上	一千人未満上	一千人未満上	一千人未満上	一千人未満上	一千人未満上	一千人未満上
三、六六	二、九四八	一、九四八									
二、八五	二、九四八	一、九四八									
二、二	二、九四八	一、九四八									
二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上	二、千人未満上
一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上	一、千人未満上
五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三	五百三

第六条第一項中「十二万五千六百四十八円」を「十二万七千七百三十一円」に改め、同条第二項中「五十四万八千六百二十六円」を「五十五万二千九百四十七円」に改める。

第六条第三項の表を次のように改める。

第九条第一項の表を次のように改める。

選挙人の数	五十万人未満	五十万人以上	五百万人未満	五百万人以上	一百五十万人未満	一百五十万人以上	二百五十万人未満	二百五十万人以上	三百万人以上
金額	二、五九、一〇〇円		百五十一万円	五十万人未満	百五十一万円	五十万人以上	五百十一万円	五百十一万以上	六百十一万円
	三、一九、一元三円	大都市のある道府県	その他の道府県	大都市のある道府県	その他の道府県	大都市のある道府県	その他の道府県	大都市のある道府県	その他の道府県
	四、四三五、六元四円		四、三七七、五元四円	六、三九、二三三円	六、三〇九、三元六円	八、二五九、二三三円	八、二〇九、三元六円	一四、九九七、六三三円	

二 都道府県の支庁又は地方事務所  
三 大都市  
四 区

二六一、六九〇円  
八一五、二四〇円

選挙人の数	五万人未満	五万人未満	五万人未満
金額	三三三、七六二円	四五二、九三二円	六一五、六八二円
選挙人の数	十五万人以上	十五万人以上	十五万人以上

選挙人の数	三万人未満	三万人未満	三万人未満
金額	一三、五三円	三三、六三円	三三、五三円
選挙人の数	十五万人以上	十五万人以上	十五万人以上

六 町村

選挙人の数	五千人未満	五千人未満	五千人未満
金額	一四、八三円	一六、七三円	一四、七三円
選挙人の数	十五万人以上	十五万人以上	十五万人以上

第十三条第二項第一号から第六号までを次のように改める。

選挙人の数	五百人未満	一千人未満	三千人以上
金額	一五、七〇円	二三、七〇円	三三、七〇円
選挙人の数	五百人未満	一千人未満	三千人以上

二 都道府県の支庁又は地方事務所  
三 大都市  
四 区

一〇一、七八五円  
一六五、四二〇円  
一四八、七九二円

選挙人の数	三万人未満	三万人未満	三万人未満
金額	一三、六六円	一三、六六円	一三、六六円
選挙人の数	十五万人以上	十五万人以上	十五万人以上

昭和二十八年四月三日印刷

昭和二十八年四月四日発行

この法律は、公布の日から施行する。

第十七条第二項中「二十八万一千三百四十三円」を「二十八万四千八十九円」に改め、同条第三項中「二七、一九五」を「三二、一六〇」、「一六、五七六」を「一九、八四五」、「二三、七〇六」を「二八、〇二七」、「一四、四四八」を「一七、二九四」に改める。

附 則